
八千代市ワールドカフェ

実施報告書



令和2年3月



八千代市

目 次

1	ワールドカフェについて	1
1-1	開催目的	1
1-2	実施方法	1
1-3	開催概要	1
	(1) 開催日時	1
	(2) 参加者について	1
	(3) 案内状	2
	(4) 招待状	2
	(5) ワールドカフェの流れ	3
	(6) タイムスケジュール	5
	(7) 話し合いの内容	5
	(8) 各グループのテーマについて	6
2	市民意見のまとめ	6
2-1	全体	6
2-2	各テーマの意見	6
	(1) 子育て	6
	(2) 生涯活躍	9
	(3) 環境	11
	(4) 安心安全	13
	(5) 魅力	16
	(6) 情報	18
3	参加者アンケート	20
4	最後に	27

1 ワールドカフェについて

1-1 開催目的

次期総合計画の策定に向けて、市民の皆さまの考え方を参考にするためにワールドカフェ方式のワークショップを開催しました。

6つのテーマについて話し合いながら、意見やアイデアを抽出していただき、各種施策の参考とすることを目的としました。

1-2 実施方法

カフェのようにリラックスした雰囲気に参加者が自由な意見・アイデア出しを行えるように、ワールドカフェ方式で実施しました。

ワールドカフェでは、ゆったりした場を演出することで話しやすさを生み出し、またラウンドごとに席替えを行うことで意見の共有ができ、新たな発想の転換に繋がる利点があります。

1-3 開催概要

(1) 開催日時：令和元年11月2日（土）10時から12時30分まで

場 所：八千代市総合生涯学習プラザ 2階 多目的ホール

(2) 参加者について

ワールドカフェの参加者は、八千代市にお住まいの方から3,500人を無作為に選ばせていただき案内状を送付し、参加希望の方74人へ、ワールドカフェの招待状を送付しました。なお、当日、参加いただいた方は48人でした。

(3) 案内状

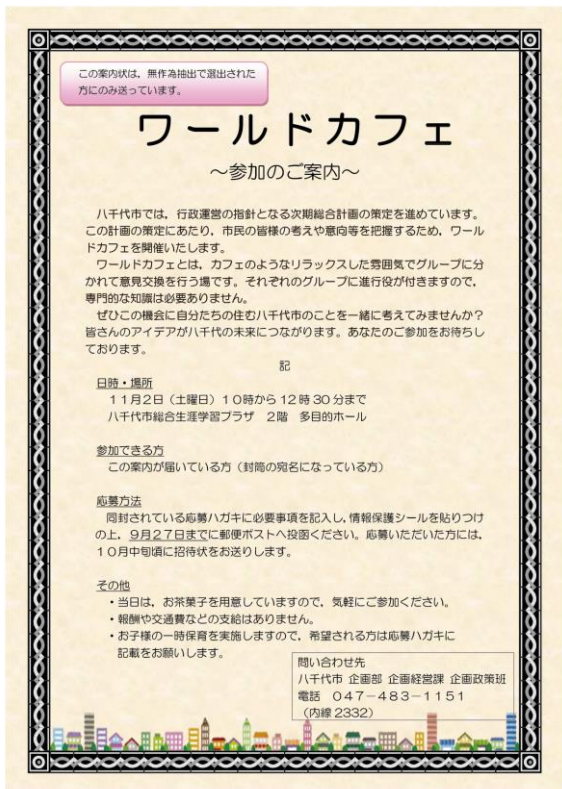


図 ワールドカフェ案内状

(4) 招待状

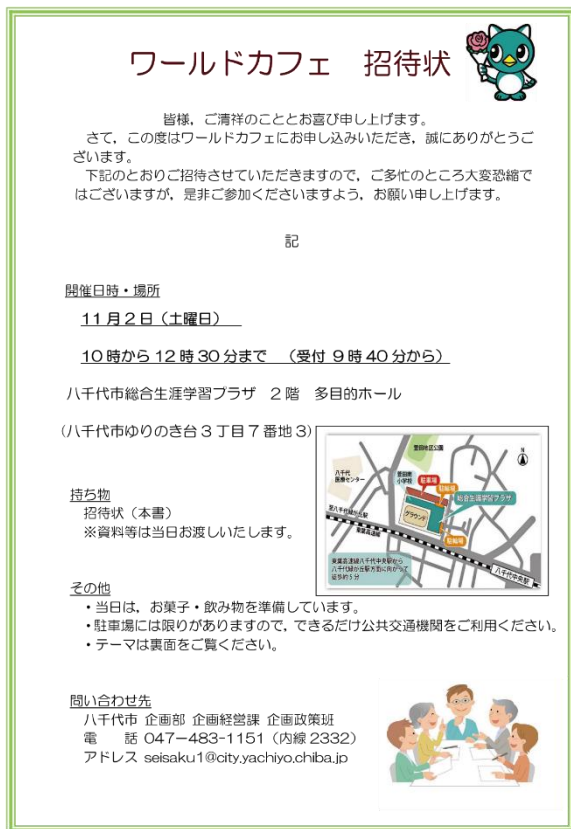


図 ワールドカフェ招待状(表面)

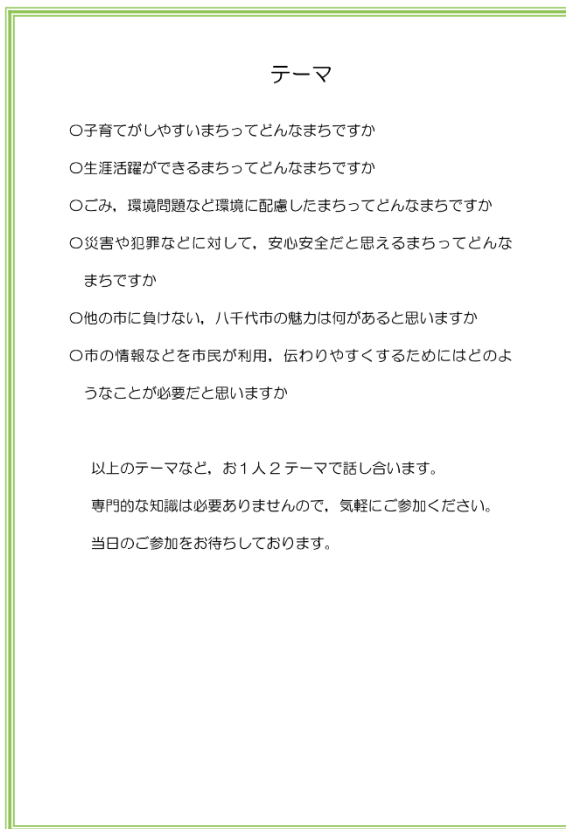
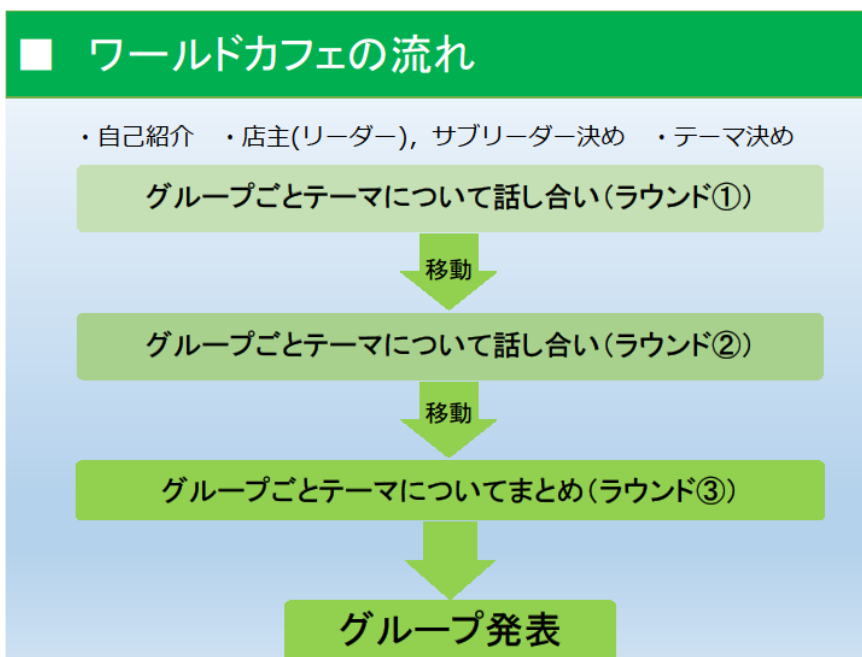


図 ワールドカフェ招待状(裏面)

(5) ワールドカフェの流れ



市民の皆さんがリラックスして会話できるように、ドリンクバーや落ち着いたBGMを流しました。



開会にあたり、服部市長が挨拶しました。



総合計画やワールドカフェの流れについて説明し、テーブルごとの話し合うテーマについて決めていきました。



模造紙に「それぞれのテーマについて思っていること、考えていること」、そのために「わたしたちや市にできること」を話し合いながら書いていきました。



席替えを行い、2つ目のテーブルで違うメンバー、違うテーマで話し合いました。



席替えを行い、最初のテーブルで最初のテーマ、最初のメンバーでもう一度話し合いました。別のテーブルでの会話を踏まえて、これまでの意見や新たな意見について話し合いました。



最後に、自分が移動しなかったテーブルの見学や、ほかのテーブルの人に自分のテーブルでの話し合いの内容を説明することで意見を共有しました。

(6) タイムスケジュール

時 間	内 容
10:00～	開会あいさつ・オリエンテーション
10:20～	進め方・グループ分け・自己紹介・テーマ選び
10:55～	グループ検討 ラウンド①
11:25～	席替え
11:30～	グループ検討 ラウンド②
11:55～	席替え
12:00～	グループまとめ ラウンド③
12:10～	グループ見学
12:25～	アンケート記入
12:30	閉会

(7) 話し合いの内容

話し合いは、下記の6つのテーマを設定しました。

○子育て

- ・子育てがしやすいまちってどんなまちですか
- ・そのために、わたしたち市民や地域などができること、市ができること

○生涯活躍

- ・生涯、活躍ができるまちってどんなまちですか
- ・そのために、わたしたち市民や地域などができること、市ができること

○環境

- ・ごみ、環境問題など環境に配慮したまちってどんなまちですか
- ・そのために、わたしたち市民や地域などができること、市ができること

○安心安全

- ・災害や犯罪などに対して、安心安全だと思えるまちってどんなまちですか
- ・そのために、わたしたち市民や地域などができること、市ができること

○魅力

- ・他の市に負けない、八千代市の魅力は何があると思いますか
- ・そのために、わたしたち市民や地域などができること、市ができること

○情報

- ・市の情報などを市民が利用、伝わりやすくするためにはどのようなことが必要だと思いますか
- ・そのために、わたしたち市民や地域などができること、市ができること

(8) 各グループのテーマについて

1 グループ5人程度とし、10グループに分かれて話し合いを行いました。
各グループのテーマについてはグループごとの希望で選択しました。

2 市民意見のまとめ

2-1 全体

参加したテーブルのテーマについて、「それぞれのテーマについて思っていること、考えていること」、「わたしたちや市にできること」を模造紙に書いていきました。

2-2 各テーマの意見

(1) 子育て

1) 主な意見

○子育てがしやすいまちってどんなまちですか

- ・子どもを育てる母親にとって、少し子どもを預けたいときに利用できる場所があるまち
- ・子どもたちの居場所が沢山あるまち
- ・地域で子育てを支えられるまち
- ・放課後の時間を安心安全に子どもたちが過ごせる場所、友達と遊べる場所があるまち

○わたしたち市民や地域などができること、市ができること

- ・子どもの医療費負担の軽減
- ・駅近にあり、当日利用が可能な、急病の子どもを預けられる病児保育ルームが増えると良い
- ・保育園を増やす
- ・保育園の情報発信（どこにあるか、空き状況等）
- ・保育園の運営時間を延長し、フレキシブルにする（働く母親に合わせた多様なパターン）
- ・認可保育園の指定園トレード制度があると良い
- ・保育園の所得制限なしの無償化
- ・保育士の賃金を上げて、保育士の人手不足を解消する
- ・シルバー人材による子育てや教育支援
- ・シルバー世代の保育士の育成（優秀なベテラン世代を保育業界に雇用）
- ・公民館、図書館、空き教室、病院の拡充・既存施設の有効活用、保育室の併設
- ・子育て支援センターなどの仕組みをつくる
- ・バウチャー制の導入（個人が手助け・利用）
- ・スーパーにキッズルームを設置

- ・日曜日も開いている学童保育所があると良い
- ・公園など子どもが安心して遊べる場の充実
- ・雨でも利用できる屋内施設の整備
- ・レクリエーションなどによる幼児から中学生までの交流の促進
- ・子どもからシルバー世代が交流できる場所や保育園や介護施設の合併施設があると良い（北習志野の児童館の運営が素晴らしいので是非見学に行ってみてほしい）
- ・地域の子ども駆け込みスポットづくり（急な外出時に預かれる場所）
- ・住居のトレード制の導入（小中学校や保育園の近くの住居）
- ・空き家バンクの活用（空き家所有者にインセンティブを与えて使いやすくする）
- ・民間と連携した無料の市内循環バスの整備
- ・子どもだけではなく、母親も楽しく生きがいを持てる環境づくり

2) 意見から考えられる役割分担

	市ができること	市民や地域ができること
一時預かり	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への保育室の併設 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーヘキッズルームの設置
地域での子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターによる子育てや教育支援 ・バウチャー制の導入（個人が手助け・利用） ・地域の子ども駆け込みスポットづくり（急な外出時に預かれる場所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターによる子育てや教育支援 ・バウチャー制の導入（個人が手助け・利用） ・地域の子ども駆け込みスポットづくり（急な外出時に預かれる場所）
居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後に子ども達が安心して過ごせる居場所づくり ・子どもからシルバー世代が交流できる場所や保育園や介護施設の合併施設があると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後に子ども達が安心して過ごせる居場所づくり
保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園を増やす ・保育園の情報発信 ・運営時間の柔軟な運用 ・公民館，図書館，空き教室，病院の拡充・既存施設の有効活用，保育室の併設 ・認可保育園の指定園トレード制度があると良い ・保育園の所得制限なしの無償化 ・保育士の賃金の改善による人材確保 ・シルバー世代を保育士として登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー世代を保育士として登用

学童保育所	・運営時間などの柔軟な運用	
医療費軽減・ 病児・病後児 保育	・子どもの医療費負担の軽減 ・病児・病後児保育施設の充実	
遊び場	・公園など子どもが安心して遊べる場の充実 ・雨でも利用できる屋内施設の整備 ・レクリエーションなどによる幼児から中学生までの交流の促進	・レクリエーションなどによる幼児から中学生までの交流の促進
子育て世代の 居住環境の充実	・住居のトレード制の導入（小中学校や保育園の近くの住居） ・空き家バンクの活用（空き家所有者にインセンティブを与えて使いやすくする） ・子どもだけではなく、母親も楽しく生きがいを持てる環境づくり	・子どもだけではなく、母親も楽しく生きがいを持てる環境づくり
移動手段の確保	・民間と連携した無料の市内循環バスの整備	

※参加していない方にも読みやすいように一部、表現を修正しています。



(2) 生涯活躍

1) 主な意見

○生涯、活躍ができるまちってどんなまちですか

- ・生涯を通じてコミュニケーションが持てるまち
- ・中高年齢者が希望を持ち、住み、健康な生活ができるまち
- ・生涯学習への個人の意識向上、自分から動くことができるまち
- ・困っている人がいたら助けることができるまち

○わたしたち市民や地域などができること、市ができたこと

- ・生涯活躍のガイドラインを作成する
- ・ボランティア活動や市民活動の活躍の場を増やす
- ・シルバー人材センターへの登録
- ・シニアや女性の活躍、参加の促進
- ・若い時（40歳代）から「生涯活躍」を意識する
- ・生涯活躍できる居場所やスキルアップ
- ・資格習得の学習の場づくり（行政・学校のしくみ）
- ・職業などの習い事などの場があると良い
- ・情報センターとして図書館を活用する
- ・シニアと若者との世代間のつながりを深くする
- ・行事や祭など町内のつながりを深める環境を増やす
- ・NPO、企業、自治会などの組織等を活用し、働きかけや相談の窓口（行政との協働）など参加しやすい環境を創る
- ・QOL（クオリティ・オブ・ライフ）を考える
- ・緑の自主的管理（市が一部管理）
- ・テニスコートの自主管理、自主運営（市から借上げ）
- ・公園・新川散歩道の整備
- ・道路幅広げる
- ・渋滞解消
- ・バスの路線網を充実する、巡回バス利用推進、巡回バスの復活と増加
- ・東葉高速線の値下げ

2) 意見から考えられる役割分担

	市ができること	市民や地域ができること
ガイドライン	・ガイドラインの作成	
生涯活躍の機 会の創出	・ボランティア活動や市民活 動などの活躍の場を増やす	・ボランティア活動や市民活 動などの活躍の場を増やす ・シルバー人材センターへの 登録 ・シニアや女性の活躍，参加 の促進 ・若い時（40歳代）から 「生涯活躍」を意識する
施設整備	・情報センターとして図書館 の活用 ・居場所づくり ・学習の場づくり（スキルア ップ，資格習得）	・居場所づくり ・学習の場づくり（スキルア ップ，資格習得）
協働	・NPO，企業，自治会など の組織等を活用し，働きか けや相談の窓口（行政との 協働）など参加しやすい環 境を創る	
公共施設等の 自主管理		・緑の自主的管理 ・テニスコートの自主管理・ 運営
公園・散歩道 整備	・公園，新川遊歩道整備	
交通環境の改 善	・道路拡幅 ・渋滞解消 ・バスの路線網を充実する ・巡回バスの復活と増加 ・巡回バス利用推進 ・東葉高速線の値下げに向け た取り組み	
交流促進		・シニアと若者をつなぐ共育 ・行事や祭りなど町内のつな がりを深める環境を増やす
講習会等の開 催	・QOLを考える	・QOLを考える

※参加していない方にも読みやすいように一部，表現を修正しています。



(3) 環境

1) 主な意見

○ごみ、環境問題など環境に配慮したまちってどんなまちですか

- ・空き家の民泊活用や耕作放棄地の活用など、地域の維持管理が行き届いたまち
- ・八千代市のホームページ環境の充実により、必要な情報がすぐ見つかる便利なまち
- ・全ての人（外国人も）がごみの出しのルールが守れるまち

○わたしたち市民や地域などができること、市ができること

- ・住民が意識してゴミの日を守ることで環境はより良くなる
- ・地域の一斉清掃に参加しやすく、色んなパターン（平日、休日等）での参加を呼びかける（簡単に、気軽に、気楽に参加できる行事）
- ・落ち葉の清掃をすることで景観が良くなり、落ち葉が排水口に詰まって大雨時に排水ができなくなることを防ぐ
- ・維持管理に配慮した植樹
- ・樹木の管理や公園の清掃等をシルバー人材センターにお願いする
- ・冠水対策を考えた道路整備（台風時には大雨の影響で道路が通行できなくなった）
- ・空き家が増えると治安が悪くなるのではないか
- ・耕作放棄地が増えると環境が悪くなるため、活用等の対策を考える
- ・民泊などの空き家活用
- ・耕作放棄地の活用
- ・多言語によるインターネット環境の整備
- ・外国語のゴミ出し説明資料などで教えてあげられるような共生をしていく
- ・駅等に喫煙所を設け吸い殻をポイ捨てる人達のマナーの向上、喫煙所マップの作成、アプリ開発をして喫煙者の誘導

2) 意見から考えられる役割分担

	市ができること	市民や地域ができること
地域環境の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理に配慮した植樹 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が意識的にゴミの日を守る ・曜日の工夫など、地域の一斉清掃に参加しやすくする ・落ち葉の清掃（景観、排水口の日詰まり防止）
公園等の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用した、樹木や公園の清掃 	
災害に対応したインフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ・冠水に対応した道路整備 	
空き家・耕作放棄地の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・民泊など空き家の活用 ・耕作放棄地の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・民泊など空き家の活用 ・耕作放棄地の活用
多言語による情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット環境の整備 ・外国語によるゴミ出しルール等の説明資料の作成 	
喫煙所の確保と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・駅等に喫煙所を設け、タバコのポイ捨てを減らす ・喫煙所の情報提供 	

※参加していない方にも読みやすいように一部、表現を修正しています。



(4) 安心安全

1) 主な意見

○災害や犯罪などに対して、安心安全だと思えるまちってどんなまちですか

- ・どこに逃げれば安全な場所を確保できるのかが事前に分かるまち
- ・川のライブカメラやハザードマップ等の情報が整ったまち
- ・地域のコミュニティ活性化により防犯面が向上したまち
- ・いつでも歩いて買い物ができるまち

○わたしたち市民や地域などができること、市ができること

- ・安心安全に関わる正しい情報が皆にいきわたるよう正確な情報を効果的に発信（デジタル利用，メール，SNS，テレビなどの活用）
- ・災害時の放送を聞こえやすくする
- ・災害に早く対応できる組織づくり
- ・犯罪防止のための活動（登下校時のパトロールなど）
- ・子ども達によるパトロールを行い，自分達のまちに興味をもってもらう
- ・近くの交番と緊密な活動をする
- ・防犯カメラの設置を増やす
- ・空き巣や痴漢の多発地への警告板設置
- ・安全な公園の整備と利用方法の検討
- ・防犯灯の整備
- ・道路標識の設置，交通安全の向上，歩道の安全性の確保
- ・歩道のへこみを解消し，自転車が走りやすい環境とする
- ・夜に川沿いが散歩できるようにする
- ・道路側の雑草除去
- ・道路不良についての相談窓口が市HP等でわかるようにする
- ・循環バスの復活
- ・気軽に外出できるように公共交通機関の運賃フリーパス（高齢者）の発行
- ・清掃活動で拾った木々を使ってキャンプファイヤーをする
- ・地域の人々のつながりを作り出す，近隣の人と顔見知りになる
- ・お祭り，イベントを開催する
- ・市民農園を近くに作る
- ・観光業を盛り上げて人を呼ぶ
- ・広報をスーパーなどよく行く場所に設置する

2) 意見から考えられる役割分担

	市ができること	市民や地域ができること
防災・防犯に関わる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に関わる正しい情報が皆にいきわたるよう正確な情報を効果的に発信（デジタル利用，メール，SNS，テレビなどの活用） ・犯罪多発地帯への警告板の設置 ・災害時の放送を聞こえやすくする ・防犯カメラの増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの増設 ・犯罪防止のための活動
防災・防犯に関わる組織・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に早く対応できる組織づくり ・犯罪防止のための活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に早く対応できる組織づくり ・犯罪防止のための活動
安全な公園・道路づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な公園の整備と利用方法の検討 ・防犯灯の整備 ・道路標識の設置，交通安全の向上，歩道の安全性の確保 ・歩道のへこみを解消し，自転車が走りやすい環境とする ・夜に川沿いが散歩できるようにする ・道路側の雑草除去 ・道路不良箇所の相談窓口をホームページで紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な公園の整備と利用方法の検討
地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園を近くに作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動で集めた木を利用したキャンプファイヤーの開催 ・地域の人々のつながりを作り出す，近隣の人と顔見知りになる ・お祭りやイベントの開催 ・観光業を盛り上げて人を呼ぶ
地域による防犯対策		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちによる防犯パトロールを行い，自分達のまちに興味を持ってもらう ・近くの交番と緊密な活動を行う
外出しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの復活 ・高齢者に対応した公共交通機関の運賃無料パスの発行 	
広報やちよを入手しやすくする	<ul style="list-style-type: none"> ・広報をスーパーやよく利用する施設へ設置する 	

※参加していない方にも読みやすいように一部，表現を修正しています。



(5) 魅力

1) 主な意見

○他の市に負けない、八千代市の魅力は何があると思いますか

- ・災害に強く、自然災害が少ない
- ・繁華街がないことで事件そのものが少なく、治安が良い
- ・自然が多い
- ・立地が良く、都心へ1時間で行ける。良さが伝わってない
- ・人口20万人で中規模のコンパクトな都市であり、新興地区としてしがらみがあまりない
- ・福祉が充実している
- ・参加できる環境がある
- ・親切で人当たりがよくやさしい人が多い
- ・開発の可能性はある
- ・働きやすさ、働く環境が恵まれている
- ・外国人でも住みやすく、働きやすい
- ・小中高が多い
- ・総合体育祭がある
- ・スポーツや文化などのイベントが多い

○わたしたち市民や地域などができること、市ができること

- ・他市へのアピール
- ・市民や若者を増やすためには緑が丘西を活用する
- ・企業もたくさんあり、それに伴う職業斡旋が豊かだともっと若者が増えそう
- ・外国人でも住みやすく、働きやすい環境であることを魅力に思える工夫
- ・主要道路の歩道の安全性の確保及び魅力的なみち（せせらぎ、小坪庭、子ども・お年寄りが居たい、過ごしたくなる）をつくる
- ・大人の市内見学ツアーの開催（市内の魅力スポット巡り、地域の食事処巡りなど）

2) 意見から考えられる役割分担

	市ができること	市民や地域ができること
まちの魅力をアピール	<ul style="list-style-type: none"> ・他市へまちの魅力をアピールする ・大人の市内見学ツアーの開催（市内の魅力スポット巡り，地域の食事処巡りなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他市へまちの魅力をアピールする ・大人の市内見学ツアーの開催（市内の魅力スポット巡り，地域の食事処巡りなど）
市民や若者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や若者を増やすためには緑が丘西を活用する 	
働きやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの企業立地を活かし職業斡旋を行う ・外国人が住みやすく，働きやすい環境をアピールする 	
安全で魅力的なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・主要道路の歩道の安全性の確保 ・せせらぎなどによる魅力的なまちづくり 	

※参加していない方にも読みやすいように一部，表現を修正しています。



(6) 情報

1) 主な意見

○市の情報などを市民が利用、伝わりやすくするためにはどのようなことが必要だと思いますか

- ・災害時の避難経路や避難訓練等の情報提供
- ・防災無線の改善（聞こえない，聞きづらい）
- ・行方不明者が発見された報告がない
- ・高齢者への情報提供方法を考える必要がある
- ・地域イベントやイベント参加者募集等の情報提供
- ・生活面でのトラブルの原因にもなるため，外国人に対する情報提供も重要
- ・広報やちよを入手できていない，入手方法も知らなかった
- ・広報やちよの受け取りの機会を増やす
- ・図書館，公民館等の情報発信
- ・市の政策や予算の使い道やインフラ整備状況についての情報提供
- ・市民が利用する主要な生活利便施設などに，イベントの案内などの市からの情報提供案内板があると良い

○わたしたち市民や地域などができること，市ができること

- ・防災無線の内容について，伝言ダイヤルのようなものがあると良い（※補足：防災無線の放送内容を電子メールや電話で確認できるサービスを実施しています。）
- ・ホームページやメール等によるリアルタイムの情報提供
- ・地域コミュニケーションの充実による情報伝達の円滑化，相互支援
- ・市民を地域組織として主体的に活動する
- ・生活面でのトラブルの原因にもなるため，外国人に対する情報提供も重要
- ・従来の自治会の他，異なった形のコミュニティも必要になっているのではないか
- ・市民の側にも，情報を得ようとする気持ちが必要だと思う
- ・広報やちよを入手しやすいようスーパー等へも設置（駅は利用しない人もいる）
- ・広報が自治会等を通して配布されている地区もある

2) 意見から考えられる役割分担

	市ができること	市民や地域ができること
リアルタイムな情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用したリアルタイムな情報提供 ・市の政策や予算の使い道やインフラ整備状況の情報提供 ・市民が利用する主要な生活利便施設などに、イベントの案内などの市からの情報提供案内板があると良い ・図書館、公民館等の情報提供 	
外国人への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人への生活ルール等の情報提供 	
コミュニティの確立		<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニケーションの充実による情報伝達の円滑化、相互支援 ・市民を地域組織として主体的に活動する ・従来の自治会などと異なる新たなコミュニティの確立
情報を得ようとする気持ち		<ul style="list-style-type: none"> ・市民側にも情報を得ようとする気持ちが必要
広報やちよ	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やちよを入手しやすいようにスーパー等へも配置する ・広報が自治会等を通して配布されている地区もある 	

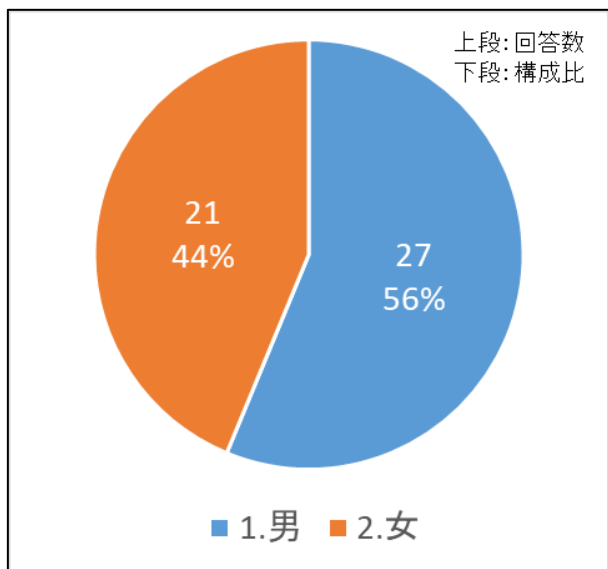
※参加していない方にも読みやすいように一部、表現の修正をしています。



3 参加者アンケート

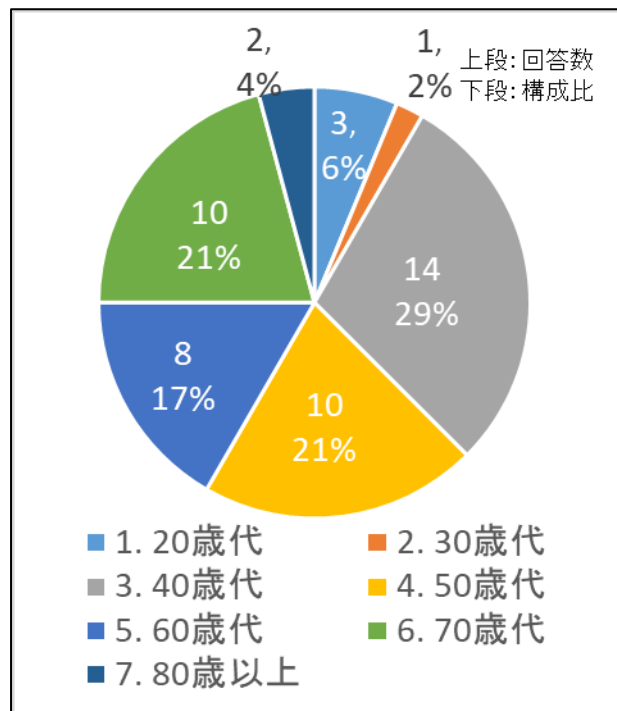
ワールドカフェの最後に、参加していただいた48人全員に、アンケートの回答をいただきました。

【問1】 性別を教えてください。



「男性」が約6割、「女性」が約4割となり、僅かに「男性」の参加者が多い結果となりました。

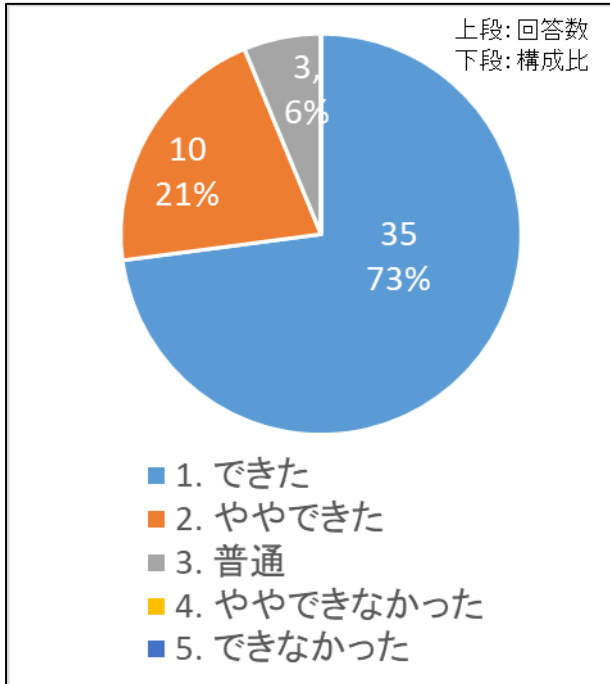
【問2】 年齢はおいくつですか。



最も多かったのは、「40歳代」で29%、次いで「50歳代」と「70歳代」で21%、3番目は「60歳代」で17%でした。

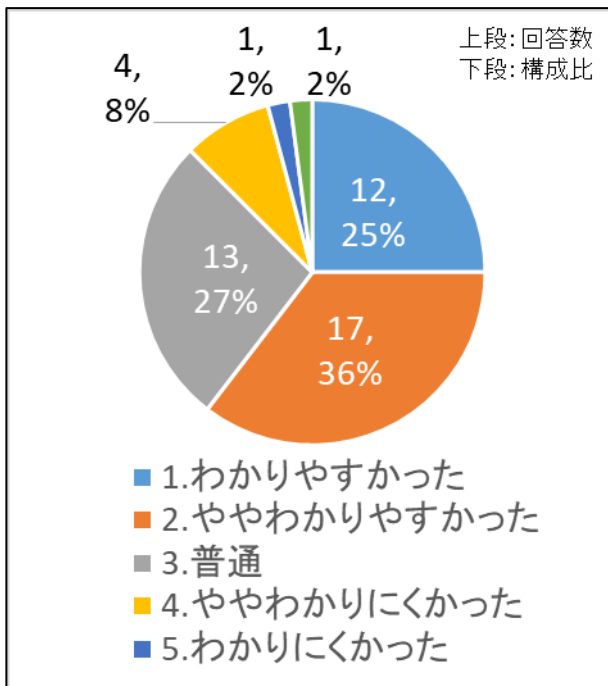
「20歳代」は6%、「30歳代」は2%の参加者となり、若年層の参加が課題となりました。

【問3】 本日は楽しい会話ができましたか。



「できなかつた」、「ややできなかつた」の回答はなく、参加者全員に楽しく会話できたことを実感してもらえる結果となりました。具体的な内容は、「世代を超えて話げできた」、「いろいろな意見が聞けて良かった」などが多い結果となりました。

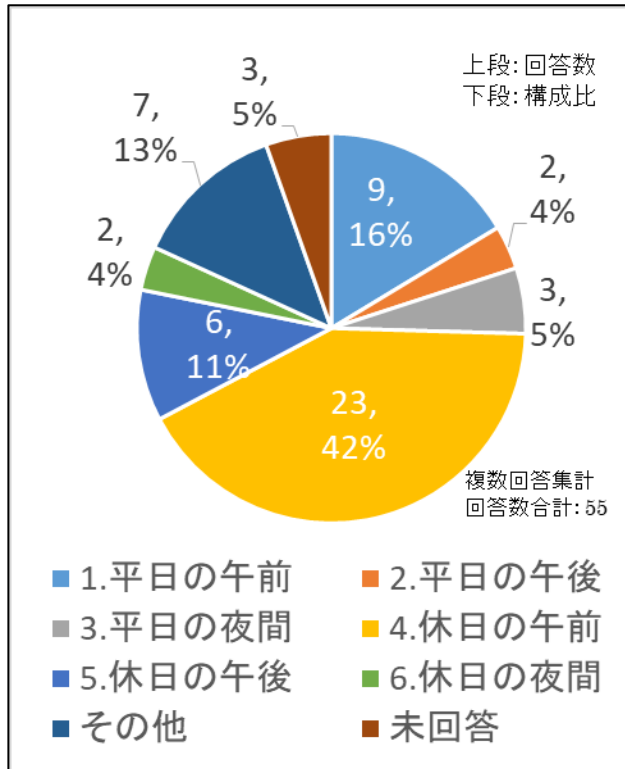
【問4】 ワールドカフェの手法についてどうでしたか。



「わかりやすかつた」「ややわかりやすかつた」があわせて61%、「普通」が27%となり、約9割の参加者にはワールドカフェの手法について理解いただける結果となりました。

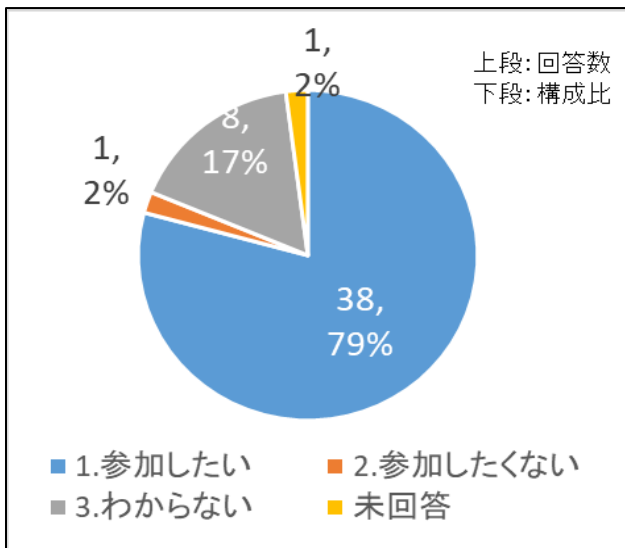
「わかりにくかつた」「ややわかりにくかつた」の具体的な内容は、「段取りが悪い」、「グループ分けの手順がわかりにくかつた」などが多い結果となりました。

【問5】 同様の機会があった際に、参加しやすい日時はありますか。



最も多かったのは、「休日の午前中」で42%。次いで「平日の午前」が16%、「休日の午後」が11%でした。

【問6】 機会があれば、また参加したいと思いますか。



多くの方が、「参加したい」との結果となりました。

具体的な内容は、「市として対策していくのをきちんと見たい」、「色々な意見があり面白かった」、「知らないことが知れた」、「今日の時間だけでは足りない」等の意見が出されました。

【問7】今回の会話の中で、一番心に響いたこと、印象に残ったことは何ですか。

- ・街を良くしたい想いはみんな一緒でした。
- ・八千代市在住の方々が少しでも住みやすくと考えているのを知り頼もしく思った。
- ・皆さん八千代市をより住みやすい町にしようとの思いがあることが分かった。
- ・どの方もそれぞれの想いがたくさんあり、八千代市の事を個々の目線で真剣に考えている点。
- ・もっと働きたい、活動したいと思っている人がほとんど！だが、その方法、情報が分からないといっている。日欧の教育原点の違い（受け取る教育→取りに行く教育化）が必要。
- ・他の人ももっと良くしたいと思っている事。
- ・街づくりの意識が高い事。（イベントや企画に参加したい気持ちが多い事）
- ・参加者の皆さんが、八千代市や地域に関心を持って、良い街にしていきたいという思いがあること。
- ・課題がテーマごとでも共通だった。
- ・活発な意見交換の場だったと思う。
- ・色々な意見の人が存在する事。
- ・人によりいろいろな意見があるということ。
- ・色々な人の考え、意見があり、面白かった。
- ・皆が関心あるテーマであり、相談しやすく、ぐたぐたであった事が魅力でした。
- ・各年代でいろんな意見があってよかった。
- ・皆様、真剣に話し合った。
- ・八千代市民の方々と接点を持てたこと。
- ・八千代市の行政について、日常あまり考えたこともありませんでしたが、今回を機にもっと関心を持って日常生活を送りたいと思います。
- ・その日、見知らぬ人と会話することから始めることで交流の輪を自分自身から広げることが大事！
- ・子どもが集まれる場所、預けられる場所の需要が非常に高い。市民協働で推進が必要。
- ・若い世代の方々の育児、特に小学校低学年の放課後の過ごし方に、シルバー世代が何か役にたてるのではないかと思った。
- ・他のグループで子どもに対する保母さんの事など具体的に話していて興味がありました。
- ・生涯活躍を考えるとときに居場所の確保、何か趣味をもつ事の大切さを学びました。
- ・「生涯活躍」について考えたこともなかったので、新鮮でこれからの考えるきっかけになりました。
- ・八千代の魅力について話し合ったのですが、その中で私達シニア世代がこの社会にいかに関わり合っていけるかをもっと考えたいという意見が印象に残りました。
- ・シルバー世代がボランティアで様々な事に協力したいと思っているということ。
- ・65歳以上の有能な人材をもっと活かす方法をもっと具体化して欲しい。

- ・リタイア世代の方も自分達自身でもっと活躍の場が欲しいと思っている方が多い事がわかった。
- ・引きこもっている人への働きかけをどうするか。
- ・空き家は多いらしい（八千代は少ないと思っていた）。
- ・八千代市は安心安全な住みやすい所です。
- ・台風など、災害が多い最近では、安心・安全はむしろないと考える方がいいという話です。
- ・防災メールなるものがあつたことを初めて知りました。八千代市のホームページを見てみようと思いました。
- ・八千代市に災害メールが有る事を知った。
- ・防災無線
- ・災害に対しての心構えなど良かった。
- ・八千代市に魅力はあるが、PR・イベント数不足！！
- ・「魅力の情報発信力が弱い」ことが共通に確認できたこと。
- ・八千代市の魅力で、バラ、梨、そしてセブンイレブンのコーヒーの氷（ロックアイス）が八千代市で作られていた事（知らなかったの）。八千代市のPRをもっとできれば良いと思いました。
- ・八千代の自然環境の良さを再確認した。
- ・皆さん八千代には多くの魅力があると思っている事。（但し、発信が不十分という意見は共通）
- ・八千代は良い所がいっぱいあるのにうまくアピールできていないということ。
- ・様々なイベントの有無、有名なことについて話せた。
- ・八千代市の良い所が多いところ。
- ・情報の発信を。外にアピールが必要。
- ・行政のPR不足。
- ・八千代市には人が来てもらえるような場所が少ないと、多くの人が感じていることが分かりました。
- ・情報の共有の重要性と伝え方。
- ・近所間のコミュニティ及び行政との連絡がとても大事な事。
- ・広報やちよを入手してもっと情報を得られるようにしたい。
- ・図書館を利用したいという市民の意見が多いのに、それに対する市の対応が不足気味ということ。
- ・八千代の現状はたまたまの状況。何か努力しているわけではない・・・私もそう思う。
- ・本日ご参加の方を見ると、若い方が少ないように感じました。

【問8】その他、ご意見がございましたら、お書きください。(自由記述)

- ・市民参加の大切さがわかりました。
- ・こういう話し合う環境作りが、市政改善の原点です。少子化、高齢化の対策としてシニアの活用、女性の活用が一番効果的です。
- ・ワールドカフェみたいなのをもっと積極的に！！
- ・町内別にこういうカフェを、これからも行ってほしい。
- ・自治体等、小規模のワールドカフェがあると地域活動の一環にもなるのでは。
- ・一過性のイベントにしてほしくない。継続してほしい。
- ・もっと行政と市民の交流の場を増やしてほしい。市民参加型の市政にしてほしい。
- ・この様な市民の交流の場を与えていただきたい。世代を超えたイベントの実施をご検討ください。
- ・市民の議論が出来る場を増やし、市政に反映してほしい。
- ・人口が減って高齢者の割合が増えることをグラフで見て、改めて将来の事が不安になりましたが、市民が今日のような意識を持ち出していくことが良い方向へ進んでいくのかなと思いました。またこの様な場を設けていただきたいと思います。
- ・日頃不満に思っていた事、話せてよかったです。
- ・ぜひ、この場に出た意見を活用していただき、いい総合計画を作ってください。
- ・本日の意見を参考に、更なる市の街づくりに反映させていただけたら嬉しいです。
- ・何をいつ、誰がどの様に、と TODO レベルから取り組むべき施策がたくさんある。収支の面から収税だけでなく、第3セクターとして収入を見込む施策が多くある。ありがとうございました。
- ・今回の意見交換がまとまったら広報やちよにでも載せていただけたらと思います。結果を知りたいので。
- ・郵送で来たアンケート集計の結果は、他で見られるようにしてください。Web上など。ただ集まって終わりそうです。どう活かすのか、目に見える形で示して下さいね。批判するわけではなく、応援、参加しますよ。
- ・アンケートの情報開示などは必要と思う。
- ・市長との対談は機会があれば出席したい。
- ・社会を大事に（地域の付き合い）
- ・テーマ別なので、若い人の意見も聞くことができた。
- ・もっと八千代市の魅力をアピールしてください！！
- ・市外からもっと人を集めて、お金を集めて市を良くして欲しい。
- ・ボランティア等をもっと色々な所で活用する。
- ・台風がきた今年がチャンス。災害メールへの登録を市民に勧めてください。
- ・八千代は地域間格差がありすぎる。どうか改善して欲しい。
- ・高齢者が元気になる八千代市作りを希望（東京都は70歳になるのが楽しみ。）ということです。
- ・296号のバイパス、米本（志津方面の橋はできている）から先が出来てない。早期着工を。
- ・体育館横の元プール跡を整備し、テニスコートにするか、駐車場にしてほしい。

- ・サークル活動や行事への参加には、私には大丈夫だろうかといった垣根があり大変な気がしました。
- ・年齢層がどうしても高い会になってしまっているの、どうにか若い世代を対象に同じような会を開いてほしい。
- ・今後の八千代市の計画策定に際して、若い方の意見が出されたか？やや心配な気もします。
- ・進行が若干もたもたしていたかと。
- ・目的のテーマについて会話できませんでした。
- ・テーマも1つか2つに絞った方が充実するのではないのでしょうか。
- ・市の方には、市民がもっと市の活動に参加できる仕組みを作って欲しい。
- ・2回位お願い。
- ・このような機会を増やしていただければ出席したい。
- ・良いメンバーに恵まれ、広く意見を聞き、私からも発言できました。貴重な機会となり、ありがとうございました。
- ・この様な機会に参加できて、ありがとうございました。生涯学習センターも初めて訪れることができました。
- ・出欠用紙に話し合いたいことのアンケートもとって、それでグループ分けしてもよいと思います。
- ・資料を前もって配って欲しかった。

4 最後に

アンケート結果では、ワールドカフェで集められた意見の総合計画への反映、今回の結果を広報やちよやホームページでの公表を求める意見、八千代市の魅力の積極的なPR、人口減少への対応などを求める意見があげられました。そのほか、継続的なワールドカフェの実施をはじめとした市民参加の機会を望む意見など様々な意見があげられました。

今回出された意見については、今後の総合計画等の策定に向けて貴重な資料として十分活用を図っていきます。

最後に、参加いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

～ワールドカフェの様子～



八千代市
ワールドカフェ実施報告書

発行：八千代市

令和2年3月

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5

TEL 047-483-1151（代表）

FAX 047-484-8824（代表）